



公共施設のあり方について

無党派 鶴指 眞澄

問 我が国の公共施設の多くは、高度経済成長期に整備され、老朽化が進み更新時期を迎えています。少子高齢化や厳しい財政事情、また公共施設に対する市民ニーズも変化しているため、国は、自治体に対し、公共施設等総合管理計画の策定を求めました。海老名市は、全国に先駆け平成26年度に策定しましたが、多くの自治体は市民の意見を反映したため、今年度策定予定であります。

市民と情報を共有しながら、市民ニーズを十分反映した公共施設再編計画を練って行くべきと考えますが、市の考えを伺います。

答（市長）：公共施設等総合管理計画は、平成26年4月の総務省からの策定要請に基づき同年11月に公共施設白書と同時に策定しました。この中で明らかとなった課題の解決に向け、現在、公共施設再編計画を策定しています。

答（財務部長）：今後の公共施設のあり方は、長期的対応を要する重要な問題です。市民ニーズに対応した持続可能な施設のあり方を示す指針となるよう、有識者で組織する策定委員会から意見をいただくとともに市民アンケートを実施し、パブリックコメントで市民の意見も取り入れ、公共施設再編計画を策定いたします。なお、公共施設等総合管理計画は、公共施設再編計画の策定や公共施設を取り巻く状況の変化に応じ、適宜、見直しを行っていきます。



市民ニーズを反映した計画策定を



多様な子育てニーズへの対応を

志桜会 永井 浩介

問 政府は女性が輝く社会の実現を掲げており、働きたい時に働いて、性別を問わず能力によって出世ができる社会になるべきであります。昨今のマスコミ報道などを見ても、外で働く女性が輝いていて、専業主婦はそうではないという印象も受けます。私は家庭で子育てをしている方も輝いていると思います。数字だけ見ると公立保育園の園児1人当たりの公費投入が年112万円、子どもを保育園に入れているのと、家庭で子育てしているのでは、税金の恩恵で考えると違ってきます。家庭で子育てをしている方に対して、税の公平性という観点から、支援を拡充して頂きたいと思いますが見解を伺います。

また、子育てに特化したバウチャー制度、子育てクーポン券の導入について伺います。専業主婦に限るか全体にするか制度設計が難しいのですが、先進市を見ても民間事業者の新規参入も期待でき、対外的に効果的に発信すれば子育て世代の移住も狙えると思います。財源上の課題もありますが見解を伺います。

答（市長）：家庭で子育てをしている専業主婦への支援は難しい問題です。子育てが終わってからまた働ける環境を整え、女性が輝くというか、皆さんが支え合う社会になると思います。具体策を研究して行きたいと思っています。

答（保健福祉部長）：子育てクーポン券については、今後の研究材料の一つにさせていただきます。と思います。

その他の質問

- ・子どもの虐待・貧困について
- ・海老名駅周辺地区、西口地区のまちづくりについて
- ・災害対策強化について



柏ヶ谷地域の交通対策について

志桜会 中込 淳之介

問 東建ニューハイツの北側、市道1141号線は大型トラックや乗用車の交通量がとても多く、危険を感じます。さらに危険な箇所は、この市道とかしわ台駅方面に向かう市道3号線が交差する焼肉店の前のY字路です。この交差点は急カーブになっているため、見通しが非常に悪く事故も頻繁に起こり、柏ヶ谷地域の危険な交差点の一つに挙げられています。私も地域住民の方から改善要望も受けています。そのような中、交差点付近の用地協力があつたと聞きました。交通の安全確保のため、交差点改良と歩道や横断歩道の新設を望みますが、市の考えを伺います。

答（市長）：この交差点は、小中学校の通学路ですが、Y字路で見通しが悪いと常に思っています。今年度に用地買収、29年度に工事という段取りで進めていきます。

答（建設部長）：この箇所は、沿線の土地と高低差があるため土手に遮られて見通しが悪いY字路で、根本的な改良が必要な交差点です。交差点北側角地の用地協力により、T字型交差点にして見通しを改善します。併せて歩道の新設、既存歩道の拡幅、横断歩道の新設を行い、車両通行の円滑化と歩行動線の充実を図る計画です。測量調査と設計は実地済みで、今後は事業用地の取得と、交差点改良計画の事業説明を沿線の地権者と住民、自治会に対し実施してまいります。また、29年度から工事に着手する予定です。

その他の質問

- ・商店への支援策について



左が市道3号線、右が市道1141号線